

香港株式市場フラッシュ

アジアの取引所間競争で優位に立つ香港取引所

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp



2021年12月8日号(12月7日作成)

“米上場廃止見通しで中国企業の香港上場増加の見通し”

香港取引所(388/HK)の株価が11月末を境に上昇に転じている。6月に米市場に上場したばかりの中国配車サービス最大手の滴滴出行が12/3、米市場の上場を廃止する手続きを始めると同時に、香港市場への上場に向けた作業を始めると発表。中国企業の香港上場が今後も増えるとの期待が市場に広がった模様だ。その背景には、米証券取引委員会(SEC)が新たな外国企業説明責任法・施行規則を採択したことにより、米上場の外国企業がSECによる監査状況の検査を受け入れないと最短で2024に上場廃止となる見通しが高まった米国側の事情とともに、同社の持つデータが米国側に流出することを警戒した中国側の事情もあると見られている。

“香港取引所の業績好調を支える2つの要因”

香港取引所の業績は好調に推移している。2021年1-9月期は、総収益が前年同期比15.1%増の162.18億HKD。その内、株式や債券に係る「現物取引(キャッシュ)」が同32.4%増の48.15億HKD、清算・決済に係る「ポスト・トレード」が同9.4%増の63.15億HKDと全体の増収分への高い寄与度を示した。堅調な業績を支える主な要因・背景として、①引き続きIPO市場が強いこと、および②中国本土市場(上海・深圳)と香港市場の人民元建て相互取引の拡大の2点が挙げられる。

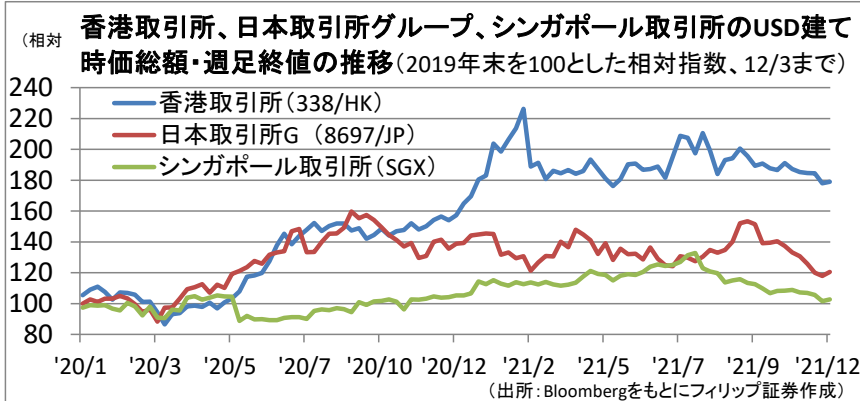
第1に、2021年1-9月期のIPOは、件数が他市場との重複上場のセカンダリー上場4件に加えて、加重投票権が付された議決権種類株式(WVR)5件を含む73件に達したほか、調達資金額が年初来9ヵ月間で過去最高の2,859億HKDに上った。

第2に、同期間の中国本土市場と香港市場の人民元建て相互取引に関して、先ず、株式に係る「ストック・コネク」からの収益が前年同期比55%増の21億HKDとなり、その内、1日当たり平均取引金額では、香港から中国本土向けの「ノースバウンド(北行き)」が同37%増の1,232億HKD、中国本土から香港向けの「サウスバウンド(南行き)」が同99%増の462億HKD。次に、債券に係る「ボンドコネク」では、ノースバウンドの1日当たり平均取引金額が同33%増の262億HKDに達した。ボンドコネクにおけるサウスバウンドも今年9/24から開始され、今後の業績への貢献が期待される。

“日本・香港・シンガポールの取引所間競争”

他の主要なアジアの取引所の業績を見ると、シンガポール取引所(SGX)の2021年1-6月期は、営業収益が前年同期比6.8%減の5.35億SGDと減収であり、その内、現物株式・エクイティデリバティブから構成される主力のエクイティ事業が同16.3%減の3.50億SGDとなった。アジア富裕層が香港国家安全維持法の制定に伴って中国政府の影響が強まった香港からシンガポールに資産を移動させる動きに関する報道が開かれるものの、今年2月より米MSCI社によりMSCI指数を基にしたデリバティブ取引のライセンスがSGXから香港取引所に移管されたことが響き苦戦した模様だ。

また、日本取引所グループ(8697/JP)の2021年4-9月期は、営業収益が前年同期比2.6%増の655.06億円と小幅の増加。日本・香港・シンガポールの取引所間競争は、香港取引所が優位に立っていると見えよう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全85銘柄)における終値の今年3月末来騰落率

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全85銘柄)

前回基準日: 20211123 基準日: 20211207

順位	3月末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	比亞迪 [BYD]	77.4	1
2	李寧[リーニン]	73.7	2
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	35.1	3
4	舜宇光学科技(集団) [サニーオプティカル・テクノロジー]	29.6	5
5	創科実業 [テクトロニック・インダストリーズ]	25.9	6
6	吉利汽車控股 [ジーリー・オートモービル・HDS]	18.7	4
7	華虹半導体 [ファオン・セミコンダクター]	15.0	12
8	信義光能 [シンイー・ソーラー]	13.0	8
9	招商銀行	12.2	11
10	新奥能源控股 [ENNエナジー・ホールディングス]	10.7	7

順位	3月末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
85	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-69.9	85
84	Kuaishou Technology (快手)	-68.9	84
83	阿里健康信息技术 [アリバヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-66.5	82
82	Haidilao International Holdi (海底撈)	-65.6	83
81	汽车之家 (Autohome)	-64.7	81
80	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-53.3	80
79	Weimob Inc(微盟集団)	-51.9	79
78	ピリビ	-44.6	72
77	ZhongAn Online P&C Insurance	-43.6	78
76	アリババグループ・ホールディング	-42.5	77

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

(注)「前回順位」は前回基準日以降の指数追加銘柄を含めた順位で表示。

【2021年11-12月の中国経済指標】

- 11月27日(土)
 - ・10月工業企業利益<前年同月比>: 前回+16.30%、結果+24.60%
 - 11月30日(火)
 - ・11月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.2、結果50.1
 - ・11月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回52.4、結果52.3
 - 12月1日(水)
 - ・11月財新製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.6、結果49.9
 - 12月3日(金)
 - ・11月財新サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回53.8、結果52.1
 - 12月7日(火)
 - ・11月貿易収支: 前回+845.4億USD、結果+717.2億USD
 - ・11月外貨準備高: 前回3.217兆USD、結果3.222兆USD
 - 12月9日(木)
 - ・11月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.5%
 - ・11月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+13.5%
 - 12月9日(木)-15日(水)
 - ・11月資金調達総額: 前回1.59兆元
 - ・11月新規人民元建て融資: 前回0.82兆元
 - ・11月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.7%
 - 12月15日(水)
 - ・11月小売売上高<前年同月比>: 前回+4.9%
 - ・11月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.5%
 - ・1-11月固定資産投資<前年同期比>: 前回+6.1%
 - ・1-11月不動産投資<前年同期比>: 前回+7.2%
 - ・11月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.25%
 - 12月20日(月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.85%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.65%
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。